

令和4年度 ボランティアコーディネーター研修開催要項

1 目的

国は「地域共生社会」の実現を掲げ、生活上の困難を抱える人々への包括的な支援を、地域相互の支え合いや、多様な担い手の参加・連携によって推進しようとしています。

これらの活動に関わる人たちの思いや関心を最大限に生かすためには、ボランティアコーディネーター等のボランティア業務担当者の役割が重要です。

本研修会では、多様な組織で働くボランティアコーディネーター等が、それぞれの立場からボランティア活動を推進していくために必要な視点や、求められる役割、課題解決に向けた手法について、講義・演習を通じて学びます。

2 対象者

県内市町村社会福祉協議会、行政、NPO 中間支援組織、病院、児童館、公民館、大学、社会福祉法人、NPO 等団体、地域包括支援センター、宮城県社会福祉協議会各施設及びその他関係機関等において、ボランティアコーディネーターや生活支援コーディネーター、ボランティア推進に係る業務を担当する職員。又は、興味のある方

3 開催日時

令和4年10月5日（水）午前10時30分から午後3時30分まで

4 開催形態・定員・会場

会場参加：30名 オンライン参加：30名

会場：フォレスト仙台 第1・2会議室

※オンライン参加の場合、カメラ・マイク付きのパソコンが必須となります。また、1名の参加につきパソコン1台の用意が必須となります。

5 内 容

10月5日（水）

「地域住民が動き出す原動力を探る～学生ボランティアのコーディネーションから学ぼう～」

10:30	開会 オリエンテーション
10:35	<講義・演習> 大学におけるボランティア活動では、活動が更に良くなるよう学生が自ら考え、実践しています。学生が主体的に活動できるためには、コーディネーターによる縁の下のサポートが一つのキーポイントとなっています。 大学におけるボランティアコーディネーターの事例から、ボランティア活動への関心を高め、継続した活動へつなげるために大切にしたい視点を学びます。また、地域におけるコーディネートにおいて、それらの視点をどのように生かすことができるか理解を深めます。 講師：中央大学 ボランティアセンターコーディネーター 開澤 裕美 氏
15:30	閉会

※ プログラム・内容については一部変更する場合があります。

※ 途中、1時間の昼食休憩を取ります。

6 参加費 無料

